



令和4年度 第3回 としょかんだより

今年も残りわずかとなりました。巷ではサッカーワールドカップが盛り上がっています。日本チームの応援に力が入っている人も多いと思いますが、テスト勉強のほうにも力を入れてください。



令和4年12月6日
九十九里高等学校 2学年 図書委員会

2年1組 八木 優美「映画が好き」

私はこれといって夢中になれるものや、特にやりたいことなどは正直ありません。でも、私にも唯一好きなことがあります。それは、映画を観ることです。何も考えたくない時や、疲れて帰宅した時に観るのが一番好きです。なぜなら映画は、嫌なことや、疲れを忘れさせてくれるからです。よく観るのは洋画で、ジャンルは、ホラー、ロマンス、ドキュメンタリー、アクションなど様々です。最近では吹き替えなしのものを観ています。その方が映画の世界に入ったみたいに集中できて、落ち着くからです。映画はわたしにとって、唯一の好きなことで、宝物だと思っています。

—八木さんおすすめの映画—

世界一キライなあなたに アメリカイギリス合作作品
私の一番おすすめしたい映画は「世界一キライなあなたに」という恋愛映画です。この映画は身体障害者の尊厳死を扱った、少し重めの話です。なぜ、私がこの映画をおすすめしたいのかというと、人生は上手く簡単にいく事ばかりではないということを考えさせられたからです。世界には色々な人がいて色々なことがあります。この先、皆さんも人生の中で苦しいことがあると思います。そのような時に是非、観てほしい作品です。

※…※ ※…※ ※…※ ※…※ ※…※ ※…※ ※…※ ※…※ ※…※ ※…※ ※…※ ※…※

2年3組 福地 真愛「いろいろな漫画」

私はよく漫画を読みます。私の思う漫画の魅力は、子供も大人も楽しめることだと思います。特に日本の漫画は海外でもトップクラスの人気です。理由としては、夢のあるストーリーだったり、登場人物のキャラクターが凝っていたり、複雑な人間関係や、会話の言い回しなどが、大人も楽しめる内容だからだと思います。あと、歴史漫画のように勉強になるものがたくさんあります。小学生の時、図書室にあったいろいろな漫画の本がすごく面白くて、たくさん読んだことを覚えています。今まで興味がなかった分野でも、漫画になっていると読みやすく、読んでいくうちに興味が湧いてくることもありました。日本の漫画って、凄いと思います。

—福地さんおすすめの漫画—

さちいろ
幸色のワンルーム はくり：著
最近、漫画はスマホで読むことが多くなりました。いま、はまっているのは幸色のワンルームです。これは、劣悪な環境にいた少女と、彼女を誘拐した犯人の物語です。誘拐や暴力が題材と聞くと暗いイメージを持つと思いますが、この漫画は暗い話ではありません。話の設定は奇抜ですが、拉致生活で初めて、生きる幸せやいろいろな感情を知っていく少女の心が丁寧に描かれていて、感動する場面がたくさんあります。



2年1組 鈴木 倭音「作法は体で覚える」

皆さんは茶道についてどんなイメージをもっていますか。多分、多くの方が、作法が細かそうとか、堅苦しいイメージを持っていると思います。実際、自分もそう思っていました。自分が茶道を始めたのは今年の4月です。顧問の先生に見学に来ないかと誘われ、行ったところ、何となく、翌週から稽古する流れとなり、入部に至りました。案の定、作法は決まりが多く、かなり注意されました。畳一畳を男は五歩で歩くとか、部屋には右足で入って左足で出るとか、どっちでも良くね？ってということが満載でした。中でも、袱紗さばきがほんとに嫌でした。袱紗とは道具を清める布の名前ですが、生地がつるつるしてて掴みづらくてイライラしました。先生は頭で考えるより体で覚えろというけれど、正直、体で覚えるとはなんぞ？と思いました。だって、体を動かすためには、頭で覚えないと始まらないのと違いますか？もやもやしながらも言われるまま練習を続けていたある日、なんと！自然と体が動いて、流れるように袱紗さばきが出来たではありませんか！すんげえ嬉しくて、体で覚えるって、こういうことをいうんだとめっちゃくちゃ実感しました。あれから半年。何でこんなことわざわざするんだろ？と作法に疑問を持つこともありますが、あの時、突然やってきた嬉しいサプライズを楽しみに稽古しています。

—図書館にこんな本があります—

にちにおこれこうしつ
日日は好日「お茶」が教えてくれた15のしあわせ
森下典子：著 新潮文庫
著者の自伝エッセイ。静かな衝撃を何度も受けます。(以下抜粋)
会いたいと思ったら会わなければいけない。好きな人がいたら好きだと言わなければいけない。花が咲いたら祝おう。恋をしたら溺れよう。嬉しかったら分かち合おう。幸せな時はその幸せを抱きしめて百パーセントかみしめる。
………… 一期一会とは、そういうことなんだ。



—図書館にはためになる漫画の本がたくさんあります—

インベスターZ 1~21
三田紀房：著 講談社
秘密の投資部に入学した秀才中学生が投資とは何かを学んでいく物語。投資と資産運用はこの先必須です。

ヒトは「いじめ」をやめられない
中野信子：著 小学館
脳科学的観点からいじめがおこるメカニズムを解説しています。最後にいじめの回避策も提案されています。

ドラゴン桜 1~21
三田紀房：著 講談社
偏差値の低い高校3年生が1年で東大逆転合格を狙うというもの。読むとやる気が湧いてきます。

マンガでわかる脱炭素
藤野純一：監修 池田書店
いま世界中で取り組んでいるのが二酸化炭素の排出量を減らすこと。脱炭素の基礎知識を専門家が解説しています。

はたらく細胞 1~5
清水茜：著 講談社
赤血球や白血球などの細胞たちが体の中でどんな働きをしてくれているのかが、わかりやすく描かれています。

